

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [知多市立佐布里小学校] 担当教諭名 [井分 優梨] (6年1・2・3組 84名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Wen Ya Elementary School] 担当教諭名 [Ruth Hou]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界のみんと交流し、世界のことをもっと知ろう!!	40
	国語	町のよさを伝えるパンフレットを作ろう	9

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	将来の夢, それぞれの国の固有の動物・植物
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	将来の夢について語り合うことで、目標に向かってがんばろうとする心を育みたい。 お互いの国の自然や文化を知ること、他者理解を深めたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの英語学習に対する意欲が高まった。 英語実行委員を立ち上げ、子どもが中心となってテレビ会議を進めることで、英語が通じたという喜びや達成感を感じることできた児童が多かった。 互いにロイロノートを用いたことで、動画や写真を送り合って交流を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本側の児童が84名と多かったため、全体交流の場では英語を話す機会のある児童は少なくなりました。集中力が欠けてしまう原因でもあった。 タブレットを互いに10台ずつ用意してグループ交流を試みたが、通信環境が悪く、途切れてしまうグループが多くあった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 住んでいる国や文化は異なるが、みんな同じ人間であることを実感できた。 他の国についても知りたいと思った。 外国に関するニュースを見るようになった。 世界の国と協力していくことの大切さが分かった。 自分が相手を理解しようとするのが、互いに分かり合うために必要なことだと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に現地の子どもたちと英語を用いてコミュニケーションを図ることで、英語学習や外国に対する興味関心が高まった。英語を使ったり、世界に目を向けたりする機会を多く設ける重要性を実感した。 絵を半分だけ描いて相手に送り、完成したものが返ってくる感動は予想以上に大きかった。子どもたちもそれを十分に感じる事ができたと思う。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	テレビ会議を2回行った。1回目は全体交流、2回目はタブレット10台用いてグループ交流を行った。互いに学校紹介や自己紹介をしたり、質問タイムを設けたりした。	初めてのテレビ会議では、英語を話すことに緊張を覚えている様子だった。言葉が通じない時には、ホワイトボードに英語を書いたり、漢字で伝えたりする積極的な姿が見られた。	総合6
共有 テーマ学習	10月	お互いが考えたテーマとその理由について伝え合った。また、児童の名前を漢字で見せて中国語の発音を教えてもらったり、じゃんけんをしたりして交流を深めた。	台湾の子どもたちが、テーマを絵に描いてイメージを伝えてくれたため、子どもたちも理解しやすい様子だった。自分の名前を中国語で呼んでもらうことができ、喜んでいた。	総合6
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	日本や知多市についてのパンフレット作りを行った。完成したものをを使い、自然や文化について伝えた。また、学級単位でのテレビ会議も行い、子どもたちの将来の夢について発表し合った。これらを基に、デザインを考えた。	台湾の子どもたちに伝えようという目的意識をもち、パンフレット作りに取り組んでいた。台湾の自然や文化について知ること、他国に対する興味関心が高まった様子であった。学級単位でテレビ会議を行った際、全員が英語を話すことができた。	国語9 総合10
創造 壁画制作	12月 1月	壁画実行委員を中心に、壁画の制作を行った。 壁画と一緒に、児童全員が作成したクリスマスカードを送った。	下絵を描いたり、色を塗ったりすることに意欲的に取り組んでいた。完成した絵をテレビ会議で披露した際には、絵の説明を英語で行うことができた。	総合10
評価 振り返り 自己評価	1月	台湾について、さらにインターネットを用いて調べ学習を進めた。 完成した壁画を鑑賞した。	外国の人々と関わる上で大切なことを、児童一人一人が考えることができた。	総合8

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	国語の「ようこそわたしたちの町へ」と関連させて、ロイロノートでパンフレットを作成した。自分の町のよさを再認識することができた。
異文化を理解する力	5	台湾の調べ学習を夏休みの宿題にして取り組ませた。また、交流学习の後に、台湾に関する学習課題を掘り下げて追究することができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	ロイロノートを活用したことにより、情報活用能力のスキルが向上した。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	外国語活動と関連して学習を進めたことにより、英語の表現力が高まった。また、英語学習に関する関心や興味も高まった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	調べたことを共有し、内容を吟味させる活動が不十分であった。
主体的に考え行動する力	4	探究課題に意欲的に取り組み、自分なりの方法でまとめることができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	相手校とテーマをすりあわせるのに苦労したが、完成した作品を見るとお互いのテーマが十分に共有できていると感じた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	2	ロイロノートを活用することで即時性の高い交流ができたが、一方で形に残すことができず、お互いの思いを十分に伝えきったとは言い難い。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	児童の振り返りを読むと、アートマイルの活動を通して、特に完成した作品を鑑賞して児童の意識が変わったことが分かる。